

荘川町六厩における 産廃計画について

たかやま自民クラブ
中谷省悟



問 当計画は、10ヘクタール以上の面積に26年に及ぶ間246万トンの産業廃棄物を埋め立てる計画である。豪雨や地震など想定外の大災害が懸念されるため、容認できない。多くの地域、多くの住民が反対する当計画についてどう考えているか。

答 八次総における荘川地域まちづくりの方向性に合致するものではなく、有数の豪雪地帯であり大量の雨が降る厳しい自然環境であること、貴重な生態系の破壊、風評被害の発生、事業に対する住民合意が困難であることなど、多くの課題がある現状において、最終処分場の建設地として荘川町六厩地区は、適地ではないと考えている。



荘川町惣則

共助の力で誰も取り 残さない避難行動を!

たかやま自民クラブ
西田 稔



問 避難行動要支援者台帳に約1,700名の登録があるが、個別避難計画策定の課題は何か。

答 避難所にいかにして要支援者を避難させるかを優先して検討しているが、トイレや食事、プライバシーの確保などの配慮の検討が不十分であり、また高齢者世帯が増えている中、個別避難計画策定数が増えていないことが課題である。

問 避難行動要支援者台帳への記載をためらう人についてどう対処するのか。

答 広報やFM放送、HPでの周知に加え、民生委員や福祉サービス総合相談支援センターの相談員による戸別訪問の強化により課題解消を図る。



介護職員等の人材不足 解消対策について

たかやま自民クラブ
榎 隆司



問 介護職員等の人材不足対策として、公的な制度(経済連携協定に基づく外国人介護福祉士候補者の受入れ等)の活用や専門学校と連携する考えは。

答 介護に関する入門的研修を開催するとともに、介護職員の人材不足に歯止めをかけ、適切なサービスが提供できるよう、公的制度的活用や専門学校との連携を含め、介護人材確保について検討を進めていく。



「高校生までの医療費 無料化」の早期実施を

無党派
上嶋 希代子



問 今回の新市長の所信表明で「高校生までの医療費無料化」を言われているが、子育て世代にとって医療費は後回しにはできない。今の経済状況をみたと、行政の経済的支援は緊急を要するものとする。今の高校3年生は半年もすると卒業する。早急な対応を求めたい。

答 高校生の医療費無料化については、出来るだけ早い時期に実施できるよう医師会などとも調整を進め、継続的事業としてできるように取り組む。

